



福井市豊小学校

豊小通信

くすのき

2024年7月号

2024年7月8日(月)発行

目指す児童像 ・考える子・助け合う子・たくましい子

本校HP

へのQR

コード



TEL:36-3802 FAX:36-3803 HP:<http://www.fukui-city.ed.jp/minor-e>

☆ 4年総合的な学習 福祉体験学習での取組 いちごデイセンターみのり訪問

4年総合的な学習では、年間を通して「誰にでもやさしい豊地区のまちづくり」をテーマに福祉について学習を進めています。6月に入り、福井市・豊地区社会福祉協議会や明倫支援包括センターなどの地域・関係機関と連携して認知症や高齢者、身体にハンデを抱える方々との関わり方を学ぶ体験学習を進めていますが、今回はその学習の様子をお知らせします。まずは7月3日(水)から8日(月)に学級単位で、地区にあるいちごデイセンターみのりを訪問し、利用者の方々とふれ合う体験活動を通して、学習の成果を試しました。子ども達は、それぞれの担当に分かれ、お手玉や百人一首での坊主めくり、折り紙などの昔遊びを一緒に行ったり、高齢者の方から子どもの頃の昔話を聞かせていただいたりとお互いにふれあい体験ができました。貴重な時間を子ども達の体験学習に充てていただいた施設の方々をはじめ関係団体の方々にこの場を借りてお礼感謝申し上げます。ありがとうございました。



始めのあいさつがわりに歌のプレゼント



施設利用の方と昔遊びで楽しいひととき



利用者以上に子ども達もやさしい笑顔



盛り上がった百人一首坊主めくり対戦



昔遊びをしながらいろいろな話も



一緒にハラハラドキドキのジェンカ



最後にお別れのあいさつ

4年総合的な学習「いちごデイセンターみのり」訪問を終えての感想

- ・身体の不自由な人でもみんな笑顔で過ごしているんだと思いました。
- ・七夕の歌を歌っている時に大きな声で歌えたり、泣いていた人もいたので、一緒に歌ってくれてうれしかったです。
- ・いちごデイセンターの人達がやさしく、分かりやすく話しているのを見てお手本にしてやってみましたが、その大変さが分かりました。
- ・高齢者の人と話をするのも、説明するのも意外と楽しかったです。

☆6月14日(金) 明倫支援包括センターによる認知症サポーター養成講習

4年の福祉体験学習の一環として、明倫包括支援センター職員による認知症サポーター養成講座が行われました。高齢化の進展と共に認知症として日常生活に支障が出てきた高齢者に対してどのように接することが望ましいのかを職員の方から説明していただいた後、実際に先生が認知症となったお年寄りを演じ、子ども達はその問いかけにやさしく受け答える場面もありました。養成講座の最後には、受講完了の証としてオレンジ色のマスコット贈呈もあり、学んだことを今後行われるデイセンター訪問などに生かせるとうれしいというお話がありました。



包括支援センターの方から認知症の話

認知症高齢者役の先生相手に対応実演

養成講座修了の記念にプレゼント受領

☆6月25日(火) 豊地区社会福祉協議会からのボランティア募集依頼

本校では、「地域の中で地域を学び、その成果を地域に生かす」をテーマに地域の各種関係団体と連携して教育活動を実施しています。その中で市社会福祉協議会からさまざまな器具をお借りして高齢者疑似体験を行った際に地区の高齢者のために自分たちができることに取り組んでみませんかというボランティア募集の誘いがありました。豊地区敬老会での受付・会場案内やデイホームでの活動などで希望する4年児童がボランティアとして参加協力する予定です。学びの成果を実際に地区の行事や活動に生かすことで学びの成果を実感できればと思います。



地区の高齢者のためにできることを考え、豊地区敬老会や高齢者ボランティア募集についてもお話を聞きました



手袋と視力矯正眼鏡で高齢者の立場で作業と歩行訓練で思うように動けない体で生活の不便さと支援の必要を実感しました

☆今週の保護者懇談会よろしくお願いします

1学期のお子さまのがんばりをお知らせすると共にご家庭とも協力して学習・生活面での成長のために取り組むことを一緒に考える場として保護者懇談会が9日(火)、11日(水)の両日午後から行われます。

懇談についてはお一人10分程度と時間が限られているため、時間に余裕をもってご来校ください。また、個別に相談などがある場合は、事前にお知らせいただいたり、別日に再度懇談の場を設定したりなどの対応を考えます。お子さまの輝く未来のため、保護者の方と一緒に有意義な話し合いをお願いしたいと思います。